



優
秀
賞

美浦村立美浦中学校 三年

制服と私

唐から澤さわ瑠る楠な

みなさんはジェンダーレスという言葉を知っていますか。ジェンダーレスとは、生物学的な性差を前提とした社会的・文化的性差をなくそうとする考え方のことを示します。

私は小さい頃から野球をやっていて髪を短くしているのですが、他チームの子やコーチからは、「男子トイレこっちはよ」などと言われて男の子に間違われることが多々ありました。小学校生活でも、女の子とあまり話していなかったり口調が男の子みたいになっていたり男扱いに慣れていたりしたので、「本当は男なんじゃないの」とからかわれる事がありました。

中学生になってからも、他の小学校から来た子には男だ

と思われていました。女子野球チームに入り、話していると同じ体験をした子が何人もいて「自分だけじゃなくて良かった」と共感してくれる子もいたのでとても嬉しかったです。

中学校では制服を着なければいけません。私はスカートを履くのが苦手で、普段からスカートを履くことを避けてきていたので制服が少し嫌でした。制服での登校で男子に「似合わない」と言われることもありました。私は制服を着たくて着ている訳ではないのでなんで、そんな事を言われなければいけないのか全く理解できませんでした。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響で例年通りの制服登校ではなく、ジャージ登校が可能となりました。ジャージ

ジ登校はスカートが苦手な私にとって、服装を気にせず学校生活を送れるということがとてもありがたかったです。

学校の授業で高校調べを行った際に色々な高校を調べました。高校によっては、女子がスカート、男子がスラックス限定ではなく、女子でもスラックスを選べるジェンダーレス制服を採用している高校もあるという事を知りました。「いつか、中学校もそうになっていくのではないかな」と思っています。そうなることで、自分らしく生活できるようになる人が私を含め増えていくと思います。

私はトランスジェンダーではありませんが、女子はスカート、男子はスラックスという服装や野球は男子がするスポーツなどといった固定概念にとらわれた考え方に違和感を覚えていました。そのため、総合のSDGsについて調べる授業では、「ジェンダー平等を実現しよう」という目標が気になりました。

世の中ではジェンダーレスという言葉が周知されはじめ、色々な事が徐々に変わり始めていると思います。一つの例として、ファッション業界では、レディース、メンズの他にジェンダーレスと似た意味を表すユニセックスとい

う表記のものも出てきています。ユニセックスとは男女の区別なく使用できる衣服やアイテムのことを示します。ファッション業界以外にもこういった取り組みが行われています。この取り組みがもっと広がることで私と同じ思いをしている人が過ごしやすい世の中になっていくと思います。

女性らしさや男性らしさを求めることも時と場合によっては必要になるかもしれませんが、それよりも、自分らしさを出す事に意味があり、そうすることによりもっと色んなことに挑戦できるようになったり、洋服や職業なども選びやすくなると思います。今はジェンダーレスという言葉を使っていますが、そのような言葉がなくとも個として尊重される社会になっていけばいいなと思います。

